



わくわく 田原っ子 Part II

令和5年度 学校地域教育目標

やさしく、かしこく、たくましい「山坂達者な田原っ子」の育成

～心豊かでたくましく、自ら考え主体的に行動する子どもを育てる～

学校スローガン ◎自他を大切にしよう ◎考え進んでやってみよう ◎最後までがんばろう

児童・教職員・保護者・地域の皆さんで「みんなの約束」を見直しました！

熊本市では、令和3年度から「校則・生徒指導のあり方の見直し」について各学校で検討していくことに取り組んでいます。この見直しの目的として、次のようにあげられています。

○熊本市は子ども一人ひとりが、社会環境の変化に適切に対応し、学びに向かう力を持ち、豊かな人間性、健やかな体を備えた、主体的に考え行動できる人づくりを進めている。

○校則・生徒指導のあり方の見直しは、熊本市教育振興計画の基本理念に基づき、学校改革の一環として行う。

○自分たちの決まりは、自分たちで作って、自分たちで守るという民主主義の基本を身に付けながら、自ら判断し行動できる児童生徒を育成することを目的とし、校則・生徒指導のあり方の見直しに取り組む。

この目的に向け、本校でも毎年見直しを行っています。今年度も、4年生以上の児童で話し合いを持ち、まとめたものを児童の代表委員会にかけ、様々な意見を交流して、児童の意見をまとめました。また、保護者様や教職員からもアンケートをとり、今の児童の実態を考え安全面、人権面、男女の区別がないか、生まれ持った性質に対して制限がないか・・・等を再検討していきました。そして、最終の話し合いとして、児童代表、保護者代表、地域代表、教職員との「校則見直し検討委員会」を26日(金)に開きました。防寒着の着用や登校時のこと、教室環境のことや、呼び捨てについてなど、子どもの考え、大人の考えを交流し、生活しやすい方向での意見にまとめられました。今後は、児童の企画委員会でまとめ、令和6年度の「みんなの約束」を完成します。代表の子どもたち4名は、「校則検討委員会」に参加をして「大人の人と話す(意見交流する)いい会が開けてよかった」「自分たちのルールは自分たちで決めるために、多くの人と話すいい機会がもててよかった」「(自分たちは卒業するけれど)次の学年の人たちに、いいルールをつくれた」「保護者や地域の方の意見を聞いてよかった」という感想をもちました。



《お世話になった方々に感謝の心を贈ります！》

学校教育目標の「豊かな心」を育てるひとつとして、自分たちが育てた花々を、教育活動でお世話になった方々に贈ろうと、今年度も一人一鉢に取り組みました。1月24日(水)は「学びタイム」の最終日で、学習サポーターとしてお世話になった退職校長会の先生方に、感謝の言葉を添えて花鉢を贈りました。退職校長会の先生方は、子どもたちからの思いがけない贈り物に、目を潤ませられ「私たちも、皆さんと一緒に学習できて楽しかった。ありがとう。」と言葉を返されました。また、「田原小オリジナルミュージカル」のプロジェクトチームの児童から、学習発表会のご案内状と一緒に渡しました。先生方は「見に来ます！」と仰ってくださいました。心が温くなる場面でした。学習発表会についての詳しいお知らせは、後日、ご家庭にプリントを配布いたします。この通信の裏にはプロジェクトチームが作成した、ポスターを印刷しています。お近くの方にもお声掛けいただき、子どもたちの

頑張りを見ていただくとうれし
いです。

